

地方創生推進交付金事業に係る効果検証【創生委員会評価シート】

事業名 (※資料1ー1 ページ番号)	事業概要	担当課名 (令和4年度)	事業費(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)					内部評価		外部評価(創生委員会からの評価)	
				指標	単位	目標値	実績値	達成率	評価区分	内容	評価区分	創生委員会からの意見
I KIX泉州ツーリズム ビューロー事業 P44～51	地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、地域連携DMOを設立する。このDMOが客観的な根拠にもとづいた戦略のもと、多様な関係者と協働して、地域資源のプロモーションや一元的な情報発信、体験型観光の提供、マーケティング機能の強化等事業を展開することにより、地域内での継続的・安定的に観光客を誘客し、地域経済の活性化を図る。	まちの活力創造課	R4 3,436,000	各種イベント総参加者数	人	R4 100,000	29,027	29%	地方創生に ☐ A: 非常に効果的であった ☒ B: 相当程度効果があつた ☐ C: 効果があつた ☐ D: 効果がなかった	・国内最大級の総合観光イベント「ツーリズムEXPO」において6社の事業者との商談や、SDGsグルメ万博を開催しブース来場者が2,500名を獲得、さらにはSNSのフォロー数が増加した。Instagram・Facebookともに1万人を超えるなど、主に(1)～(4)の事業においてプロモーション強化につながる事業をKIX泉州ツーリズムビューローが実施したことにより、本市においてコロナ禍で寂寂とした観光客の回復が期待されている。また、以下に示すような結果を挙げた。・全国ビーチバレーボール男子選手権やぐらバレーが開催されたり、「桜祭り」の代わりに「葉桜祭り」が実施された。 ・阪南市観光協会においても体験コンテンツの作成を行い、西日本で唯一体験できる「すだて遊び体験」は大人7,500円、子ども3,000円(現在3,500円)にもかかわらず大好評となり、今年度も昨年度比3倍以上のペースで好調に販売できている。 ・さらに、阪南市観光協会において観光庁の「看板商品創出事業」において土産をテーマにした事業を応募し、採択されたことで、土産に関する事業を展開した。その中の一つ「カキフェスティバル」については、KIX泉州ツーリズムビューロー及び田尻町、泉南市と連携実施することができ、本市単独の来場者としても雨天にもかかわらず約3,000人(うち6割が市外)となった。その結果、KPI実績値が前年比266%増と大幅に改善した。 ・なお、KPIについては、泉州地域における観光振興、観光産業、地域経済の発展に寄与することを目的としていることから、本市における地方創生推進交付金事業の実施に伴う効果検証としては、本市内で開催された各種イベントにおける総参加者数をKPIとして設定している。	総合戦略のKPI達成に ☒ 有効であった ☐ 有効とは言えない	・コロナの影響により、KPI実績の達成に至らなかったが、前年度と比較して、数値が上がっていたことから、一定効果があったと評価する。 ・経年変化の説明があれば、事業の効果の有無が、よりわかりやすい。 ・観光DMOは、市単体ではなく、泉州地域一体の魅力を発信すること、インバウンドや日本国内の泉州来訪者の増加に繋がると思われる。